

『社会関連会計研究』執筆要領

2005年5月10日施行
2007年12月25日改訂
2009年11月14日改訂
2010年11月20日改訂
2018年11月2日改訂
2021年2月12日改訂

第1条 本誌に掲載される研究論文等1篇の分量（日本語の表題・著者名，英語の表題・著者名・抄録，日本語のキーワード，図表を含む）は，以下のよう定める。

論文 20,000 字 （刷上り 14 ページ以内）

書評 10,000 字 （刷上り 7 ページ以内）

第2条 原稿はワープロソフトで作成し，学会論文投稿フォームから投稿するか，編集委員長宛に E-mail で投稿する。（編集委員長から受理の送信をもって，投稿の受付とする。）

第3条 原稿は次の方法で送付する。

論文投稿フォーム：<http://www.jcsara.org/journals/submission/>

E-mail：rcsar-editor@mail.jcsara.org

第4条 原稿は，A4 判，1 行 40 字，1 ページ 36 行というフォーマットで作成すること。なお，本誌の 1 ページは 42 字×34 行の 1428 字である。図は 1 つにつき，半ページから 1 ページ程度のスペースを必要とするので，適宜本文の字数を減らすこと。

第5条 投稿ファイルは，以下の 2 つとする。

「著者情報ファイル」

「論文ファイル」

第6条 「著者情報ファイル」には，論文タイトル（日本語・英語の両方），執筆者（複数の場合は全員）の氏名と所属（いずれも日本語・英語の両方），査読結果等の連絡先（E-mail アドレス）、校正ゲラの郵送先、を記載すること。

第7条 「論文ファイル」には，冒頭に「論文タイトル」（日本語・英語の両方），論文要旨（300 字程度），続けて 3～5 語の日本語（ただし英語も併記する）のキーワードを記載してから本文を始めること。このファイルには執筆者の氏名を記載しないこと。また謝辞等も記載しないこと（ただし採択決定後は，入稿時もしくは校正時に謝辞の追加記載を認める）。

第8条 見出しレベルは「節 section」「項 subsection」「目 subsubsection」レベルまでとし、下記の通りとする。

1 （節）

1. 1 （項）

1. 1. 1 (目)

- 第9条 和文は常用漢字・現代仮名遣いを用い、句読点には「,」「。」を用いる。
- 第10条 図と表は必要最小限にとどめ、それぞれ連番を付し、簡潔な見出しをつける。
- 第11条 注は、本文の末尾に「注」というセクションを設け、一括して記載する。
- 第12条 本文中での注の指示は、小括弧で連番を付して示す。例：(1), (2), ...
- 第13条 本文中で引用された文献は、注のセクションの後ろに「参考文献」というセクションを設け、欧文文献（アルファベット順）、日本語文献（五十音順）に記載すること。
- 第14条 本文中での引用文献の指示は、著者名・刊行年を小括弧に入れ、カンマで区切って示す。その際、外国人名は原語で表記する。例：(青木, 1993), (Smith, 2002)
- 第15条 同じ著者で同一刊行年の文献を複数引用する場合は、それぞれ刊行年の後ろにアルファベットを付して区別すること。例：2004a, 2004b, ...
- 第16条 「参考文献」のセクションでは、各文献は以下のようなスタイルで記述すること。

引用文献のスタイル

(1) 著書

日本語文献：著者名（刊行年） 『著書名』 出版社。

欧米文献：Surname, Initials (Year) *Title*, Publisher.

山上達人（1996） 『環境会計の構築－社会関連会計の新しい展開－』 白桃書房。

Mansley, M. (2000) *Socially responsible investment –A guide for pension funds and institutional investors-*, Monitor Press.

(2) 編著書の分担執筆論文

日本語文献：著者名（刊行年） 「論文（章）タイトル」 編者名『著書名』所収，出版社，頁。

欧米文献：Surname, Initials (Year) “Title,” in Editor’s Surname, Initials (Ed.) *Title of Book*, Publisher, Pages.

宮崎修行（2004） 「ヨーロッパの環境会計」 勝山進編著『環境会計の理論と実態』所収，中央経済社，147-167頁。

Gray, R. and Bebbington, J. (2000) “Environmental Accounting, Managerialism and Sustainability: Is the planet safe in the hands of business and accounting?” in Freedman, M. and Jaggi, B. (Eds.) *Advances in Environmental Accounting & Management (Volume 1)*, JAI, pp. 1-44.

(3) 雑誌などに掲載された論文

日本語文献：著者名（刊行年） 「論文名」 『雑誌名』 巻数 号数，頁。

欧米文献：Surname, Initials (Year) “Title,” *Journal*, Volume, Number, Pages.

阪 智香（2003） 「環境会計の新体系試案」 『社会関連会計研究』 第15号，23-32頁。

Beets, S. D. and Souther, C. (1999) “Corporate Environmental Reports: The Need for Standards and an Environmental Assurance Service,” *Accounting Horizons*, Vol. 13, No. 2, pp. 129-145.

- 複数の著者がいる場合は，省略せずに全員を記載すること。なお，欧米文献で複数の著者がいる場合，2人目以降の著者名もすべて Surname, Initials の順で記載すること。
- 英文の組織名・雑誌名等は，省略せずに正式名称で記載すること。例：(誤) AERA→(正) American Educational Research Association